

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立九条小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒988-0064
宮城県気仙沼市九条 327 番地

E-mail : kujo@rose.ocn.ne.jp

Website : http://kujosyou.web.fc2.com/

児童生徒数：男子 172名 女子 176名 合計 348名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）


- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではな

く本報告書にご記入願います。

学校名	九条小学校	主なESD領域	環境												
テーマ	「見つめようこの町を 広げよう人の輪を」														
<p>1 ESD でめざすもの</p> <p>(1) ESD のねらい</p> <p>○身近な自然や社会事象に対する興味・関心を高めるとともに、進んで働き掛けようとする態度や実践力を養う。</p> <p>○環境問題に関心を持ち、環境に対する人間の責任と役割を理解して、環境保全に参加する態度や環境問題解決のための能力及び実践的な行動力を育成する。</p> <p>(2) ESD で育てたい力（資質・能力及び態度）【目指す児童像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題の解決に向けて行動する子ども（よりよく問題を解決する資質や能力） ・事実や関係をとらえたり、分かりやすく表現したりする子ども（学び方やものの考え方） ・身近な環境から問題を見つける子ども（主体的、創造的、協同的に取り組む態度） ・学んだことをもとに環境との関わりを考えて生活する子ども（自己の生き方） 															
			<p>4年生 神山川を調べよう</p>												
<p>2 ESD のプログラム</p> <p>(1) 取組の概要</p> <p>低学年は、主に生活科の学習の中でESDに取り組んでいる。地域に住む農家の方から協力をいただき、教材園や学校農園での栽培活動を通した「自然との対話」を重視し、自然に対する感性を高めるとともに、自然を相手にすることの楽しさを体感させる活動を行っている。</p> <p>中学年以上は、主に総合的な学習の時間の中でESDに取り組んでいる。身近な環境に目を向け、地形や施設、産業等について調べる活動を通して、九条地域や気仙沼市の特徴を知るとともに、よさについて理解を深めさせる活動を行っている。</p> <p>(2) ESD プログラム</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>3年 九条のみみつを教えよう</th> <th>4年 この町を見つめよう</th> <th>5年 気仙沼を探ろう</th> <th>6年 再発見!!気仙沼</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九条のみみつを教えよう1 (地域のよさ) ○九条たんけんをしよう ○九条のみみつを詳しく調べよう ○九条のみみつを発表しよう</td> <td>神山川について調べよう ○川の周りを調べよう ○川の生きものを調べよう ○川の役割を考えよう ○調べたことを発表しよう</td> <td>気仙沼の恵を調べよう ○農業食材について調べよう ・気仙沼産の野菜について ○漁業食材について調べよう ・気仙沼産の水産物について</td> <td>気仙沼の魅力を調べよう ○気仙沼の魅力を考えよう ○他の地域と比較しよう ・修学旅行での自主研修 ○未来の気仙沼を考えよう</td> </tr> <tr> <td>九条のみみつを教えよう2 (防災マップをつくろう) ○まちの危険を調べよう ○防災マップをつくろう ○代表児童による発表会</td> <td>気仙沼の海について調べよう ○海の生きものを調べよう ○川と海のつながりを考えよう ○調べたことを発表しよう ○代表児童による発表会</td> <td>気仙沼の恵を知らせよう ○気仙沼恵み弁当を作ろう ○気仙沼恵み弁当を知らせよう ○代表児童による発表会</td> <td>気仙沼の魅力を伝えよう ○気仙沼の魅力を発信しよう ・パンフレット作成、ホームページ作成等 ○代表児童による発表会</td> </tr> </tbody> </table>				3年 九条のみみつを教えよう	4年 この町を見つめよう	5年 気仙沼を探ろう	6年 再発見!!気仙沼	九条のみみつを教えよう1 (地域のよさ) ○九条たんけんをしよう ○九条のみみつを詳しく調べよう ○九条のみみつを発表しよう	神山川について調べよう ○川の周りを調べよう ○川の生きものを調べよう ○川の役割を考えよう ○調べたことを発表しよう	気仙沼の恵を調べよう ○農業食材について調べよう ・気仙沼産の野菜について ○漁業食材について調べよう ・気仙沼産の水産物について	気仙沼の魅力を調べよう ○気仙沼の魅力を考えよう ○他の地域と比較しよう ・修学旅行での自主研修 ○未来の気仙沼を考えよう	九条のみみつを教えよう2 (防災マップをつくろう) ○まちの危険を調べよう ○防災マップをつくろう ○代表児童による発表会	気仙沼の海について調べよう ○海の生きものを調べよう ○川と海のつながりを考えよう ○調べたことを発表しよう ○代表児童による発表会	気仙沼の恵を知らせよう ○気仙沼恵み弁当を作ろう ○気仙沼恵み弁当を知らせよう ○代表児童による発表会	気仙沼の魅力を伝えよう ○気仙沼の魅力を発信しよう ・パンフレット作成、ホームページ作成等 ○代表児童による発表会
3年 九条のみみつを教えよう	4年 この町を見つめよう	5年 気仙沼を探ろう	6年 再発見!!気仙沼												
九条のみみつを教えよう1 (地域のよさ) ○九条たんけんをしよう ○九条のみみつを詳しく調べよう ○九条のみみつを発表しよう	神山川について調べよう ○川の周りを調べよう ○川の生きものを調べよう ○川の役割を考えよう ○調べたことを発表しよう	気仙沼の恵を調べよう ○農業食材について調べよう ・気仙沼産の野菜について ○漁業食材について調べよう ・気仙沼産の水産物について	気仙沼の魅力を調べよう ○気仙沼の魅力を考えよう ○他の地域と比較しよう ・修学旅行での自主研修 ○未来の気仙沼を考えよう												
九条のみみつを教えよう2 (防災マップをつくろう) ○まちの危険を調べよう ○防災マップをつくろう ○代表児童による発表会	気仙沼の海について調べよう ○海の生きものを調べよう ○川と海のつながりを考えよう ○調べたことを発表しよう ○代表児童による発表会	気仙沼の恵を知らせよう ○気仙沼恵み弁当を作ろう ○気仙沼恵み弁当を知らせよう ○代表児童による発表会	気仙沼の魅力を伝えよう ○気仙沼の魅力を発信しよう ・パンフレット作成、ホームページ作成等 ○代表児童による発表会												

(3) 活動の評価の観点と方法

評価の観点	中学年	高学年
よりよく問題を解決する資質や能力	課題解決のための方法を考えたり、調べたことを分かりやすく表したりすることができる。(記録物)	課題解決のためのよりよい方法を考えたり、調べたことを工夫して表したりすることができる。(記録物)
学び方やものの考え方	目的や相手に応じて、調べ方、記録の仕方などに気を付けて調べることができる。(ワークシート)	目的や相手に応じて、調査方法や記録の仕方を工夫し、課題に結びつけて考えることができる。(ワークシート)
主体的、創造的、協同的に取り組む態度	テーマに沿った課題を見つけ、見学活動や体験活動に進んで取り組もうとする。(観察、ワークシート)	テーマに沿った課題を設定し、進んで情報収集し、まとめの活動に意欲的に取り組もうとする。(観察、ワークシート)
自己の生き方	活動を通して学んだことを学習や生活に生かそうとする。(観察)	活動を通して学んだことから、生活と関連付けてさらに深く学習したり、生活の中に生かそうとしたりする。(観察)

3 平成25年度のESDの実践

(1) 今年度の取組の変更や改善点

児童が災害時に安全に避難できるようにと考え、3学年で防災マップ作りを行うことにした。自分の住んでいる地区の防災マップを作成し、防災への意識を高めた。

(2) 実践の成果

①プログラムや活動の改善の視点から

- ・3年生の防災マップ作りは、地域のよさを見つけるための探検から発展した活動である。まちを歩いて見学したことで、土地の様子や建物・施設の場所などを知ることができ、防災マップ作りにとっても役立っていた。また、話し合いやまとめの様子を見ると、3年生の視点で防災をとらえ、その意識の高まりが感じられた。



3年生 九条たんけんをしよう

②児童生徒の変容(資質・能力、態度)の視点から

- ・昨年度から各学年の取組の様子を合同で発表する場を設けたことで、まとめ方の工夫や分かりやすく表現する方法を理解し、自分のまとめや発表に生かそうとする意欲が高まった。
- ・身近な地域を素材として学習を進めてきたことで、自分たちの住んでいる地域の自然や人々について興味をさらにもつようになるとともに、郷土への愛着が深まった。また、防災の視点をプログラムに加えたことで、地域の環境の特徴を理解し、地域とともに生きていこうという意識も高まった。
- ・自分たちの住んでいる地域の自然環境の素晴らしさを理解するとともに、それらを大切にし、守っていこうとする心情が育まれてきている。

③教師や保護者、地域住民の意識の変容の視点から

- ・身近な地域を素材として扱い、課題を見つけたり、深く調べたりさせることで地域のよさを改めて理解させるとともに、そこに住む人々が地域の中でどのような役割を果たしているのかを考えさせることができた。
- ・保護者や地域の方々が児童の活動の目的や意義などを理解し、ボランティアとして協力して下さったこと等から地域全体で子どもたちを育てようという意識が高まっていることを感じた。



5年生 気仙沼の恵みを調べよう

(3) 次年度に向けた課題と展望

①プログラムの視点から

ESD で育てたい力の再確認からプログラムを見直し、改善・修正を毎年行っていく。その中で課題設定や課題解決につながる体験活動や見学の充実は重要である。児童が質の高い課題を設定したり、よりよい課題解決の方法を考えたりするためにはどのような体験や見学が有効なのか、その選定、開発を常に行っていく必要がある。

②推進体制の視点から

児童の学習をさらに充実させるためには、新たな講師やゲストティーチャー、学習ボランティア等の人材発掘が必要である。校内のコーディネーターの設置や人材リストの整理・充実を更に図っていく。また、教育委員会で気仙沼市全体の人材を一元管理していくことも必要と考える。

③学習環境の視点から

児童が学習を進める際にインターネットを活用して様々な情報を収集し、選択、活用する事が多くなってきている。しかし、パソコンの操作に慣れていない児童がいることや、調べられる地元の情報も多いとは言えないこと等から、目的の内容にたどり着くのは困難な場合が多い。ICT 機器の使い方の指導はもちろんだが、「わたしたちの気仙沼市」をはじめ、児童にとって身近な図書や映像資料等の充実を図る必要がある。



6年生 他地域と比較しよう

